

テーマは「思いやり」 エコライフについて考えます。

思いやり通信 NO. 1

平成29年 9月の思いやり通信



干潟などCO2貯留 年3300万トン 国内排出量の3%

- ・国立環境研究所などは、干潟や藻場にすむ生き物が体内にため込む炭素の量が、国内で最大900万トンに達するとの試算をまとめました。二酸化炭素（CO2）に換算すれば3300万トンと、年間の国内排出量の3%弱にあたります。
- ・温暖化ガスの排出量増加を防ぐ面からも、干潟や藻場を保全する重要性が増しそうです。（2017年8月20日 日本経済新聞記事から抜粋引用）



エコライフ -

パッシブデザインが必要な時代が迫っている その4

住宅の資産価値を評価できる環境へ

- ・これまで中古の戸建て住宅は、「築年数」や「立地」が評価の主なポイントとなっていました。20～25年程度で市場価値はほぼゼロとみなすという慣行がありました。
- ・国土交通省は平成26年に、「中古戸建て住宅に係る建物評価の改善に向けた指針」を示しました。
- ・これにより今後は、新築時の劣化対策や断熱性能に対する評価基準だけでなく、「リフォーム」による機能向上、「劣化の補修」等も評価対象として加えられます。
- ・手入れをしながら住み続けることができる住宅について、より長い期間、高い資産価値が認められる環境を整えることを目的にしたものです。（高垣吾朗氏著「夢を叶える家づくり」より引用・抜粋）



“たろうの店きごころ” 山忠木材株式会社
大阪市大正区千島3-18-9 TEL06-6552-0781